

# 令和5年度学校自己評価システムシート (滑川町立宮前小学校)

目指す学校像	「ナイス、トライ!」の声があふれる学校
--------	---------------------

重点目標	1 学力、体力の向上 2 豊かな心の育成、基本的な生活習慣の確立 3 開かれた学校づくり (応援したくなる学校づくり) 4 教育の質の向上を図る働き方改革
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 5名 事務局(教職員) 3名
-----	-------------------------

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題●	評価項目	具体的方策 (◎重点)	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○授業規律や学習意欲・態度については、児童・保護者の肯定的な評価が継続されている。</p> <p>○各種学力調査結果の活用を活用した授業改善サイクルが機能している。</p> <p>●<u>学習指導要領の主旨を踏まえた指導実践と改善を重ねて充実していくことが課題である。</u></p> <p>●<u>根気強く運動に取り組むことが苦手である。意のままに動ける体づくりを進めていくことが課題である。</u></p>	<p>学力の向上</p> <p>体力の向上</p>	<p>◎<u>コロナ前にでなく、挑戦し想像する教育活動を推進していく中で、感染症対策をしていく。</u></p> <p>◎<u>主体的対話的で深い学びを目指した授業改善を推進する。</u></p> <p>○<u>スタディウィークの取組をすすめ、「家庭学習のすすめ」「ターナちゃんノート」を活用し、家庭学習の充実を実現する。</u></p> <p>○<u>課題への挑戦回数、機会を保障する体育授業と体育活動を実践する。</u></p>	<p>○学校評価に係る児童・保護者対象アンケートで、「学力向上」に関し9割以上が好意的な評価したか。</p> <p>◎<u>国語科の研究を推進し、具体的な授業改善の方策を見出すことができたか。(学校課題研究まとめ)</u></p> <p>○<u>体育授業において子どもたちが挑戦する回数・挑戦する時間の保障に向けた取り組みを共有したか。</u></p>	<p>○「学力向上」に関するアンケートの好意的な評価は、児童89%、保護者89%であった。</p> <p>○すべての学年で、国語科の授業研究を行い、1年生、3年生、5年生で校内全体授業研究・研究協議会を実施した。説明文を中心に、根拠を明確にして思考を深め、発信する授業を展開した。</p> <p>○特にボール運動で、挑戦回数を増やす教材、教具の工夫をした授業を行えた。</p>	A	<p>○児童が挑戦し想像する教育活動をさらに推進していく。</p> <p>○「発信する力」を伸ばす授業を進めていく。</p> <p>○国語科における授業の工夫改善を進めていく。</p> <p>○全力で運動の取り組み体育授業の工夫改善から、「体育的学力の向上」を図っていく。</p>
2	<p>○自己有用感の育成、傾聴の指導は、成果が継続されている。</p> <p>●自己有用感の育成、傾聴の指導を継続する。</p> <p>●校外でのあいさつ、丁寧な言葉遣いに課題がある。</p> <p>●ケース会議等、校内の連携充実を図るとともに関係諸機関の連携強化を継続する。</p>	<p>豊かな心の育成</p> <p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>◎<u>家庭訪問、電話連絡、相談日等により、児童の心情と学習・生活の状況を把握し、児童のよさを共有し、学校と家庭とで見届けの充実を図る。</u></p> <p>○自己有用感の育成、傾聴の指導の連鎖を実現する。</p> <p>◎<u>相手に伝わるようなあいさつの仕方(声、動作)の指導を継続する。</u></p> <p>○<u>研修により課題のある児童に対する指導力の向上を実現する。</u></p> <p>◎<u>校内ケース会議の実施による校内支援体制と指導方略の構築・共有・協働をより明確にする。</u></p> <p>○<u>教育委員会、健康福祉課、保健センター、嵐山学園、民生委員等関係諸機関との連携を強化する。</u></p>	<p>○児童、保護者対象のアンケートで、基本的な生活習慣の確立に関し9割以上が好意的に評価したか。</p> <p>○学校自己評価で、児童像の育成に関して全職員が成果を認めたか。</p> <p>◎<u>校内支援体制の充実と関係諸機関との連携により、課題を解決したか。</u></p>	<p>○「基本的生活習慣」に関するアンケートの好意的な評価は、児童91%、保護者89%であった。特に、「充実した学校生活を送っている」の項目で保護は95%の好意的な評価を得た。</p> <p>○教職員の肯定的な評価は80%であり、時間を守る、あいさつ・場に応じた言葉遣いに課題があると示した。</p> <p>○校内支援体制、関係諸機関との共有・協働は図られ、多面的な対応を講じているが課題解決にまでは至っていない。</p>	B	<p>○基本的生活習慣に関し、児童、保護者、職員と概ね肯定的な評価だが、児童のよさ、頑張りの共有と見届けを継続していく。</p> <p>○あいさつ、場に応じた言葉づかいを、具体的な場面や行い方について適宜指導を重ねていく。</p> <p>○校内支援体制、関係諸機関との連携を充実させてきている。継続していくとともに、課題解決に向け、双方の役割、協働、見届け方を一層確認していく。</p>
3	<p>○「開かれた学校」について好意的な評価を継続している。</p> <p>●<u>授業参観は実施できたが、地域への公開を見送った。</u></p> <p>○見守り活動、奉仕作業、資源回収など保護者・地域の方から多くの支援をいただいている。</p> <p>●<u>PTAと「親路の会」による奉仕作業を複数回実施できた。さらに応援の輪を広げていく。</u></p>	<p>開かれた学校づくり (応援したくなる学校づくり)</p>	<p>○学校の方針を丁寧に説明する。</p> <p>◎<u>スピード感のある対応の徹底を継続する。</u></p> <p>○保護者や地域住民の意見や不安に教員自ら自分の言葉で応え、丁寧に説明し、合意形成を図る。</p> <p>◎<u>家庭訪問、電話連絡、相談日等により、児童の心情と学習・生活の状況を把握し、よさを共有し、学校と家庭とで見届けの充実を図る。(再掲)</u></p> <p>○配慮が必要な児童等への課題や懸案事項の解決に向け、関係諸機関との連携を強くしていく。</p> <p>◎<u>教職員に「学校が地域のランドマークとなる」ことの意識付けを図る。</u></p>	<p>○保護者等対象のアンケートで、「開かれた学校」に関し、9割以上が好意的に評価したか。</p> <p>○地域の方々への公開を設定したか。</p>	<p>○「開かれた学校づくり」に関する好意的な評価は、保護者92%であった。</p> <p>○適宜、家庭訪問、電話連絡、相談日等により、児童の心情と学習・生活の状況を把握し、よさを共有することができた。特に、欠席状況確認、けが等の報告を可能な限りその日に保護者へ行うことができた。</p> <p>○学校HPの更新を30回程度実施できた。</p>	A	<p>○スピード感のある対応を継続する。</p> <p>○各種会議等で、学校での児童の様子を積極的に広報することを継続していく。</p> <p>○学校HPの更新を進めていく。</p> <p>○学校公開日を設定する。</p>
4	<p>○出勤退勤時刻を把握し、仕事の優先順位の意識等、タイムマネジメントの意識が出てきている。</p> <p>○SSS(スクールサポートスタッフ)の活用を推進している。</p> <p>○<u>教職員の働き方改革について保護者等への説明・周知が進んできている。</u></p> <p>●<u>80時間/月を超える時間外在校時間の職員がいる。</u></p> <p>●<u>教育の質の維持・向上のための「働き方改革」を意識し、行事の精選や教職員の意識改革を進める。</u></p>	<p>教育の質の向上を図る働き方改革</p>	<p>◎<u>最終退勤時刻の設定、時間外在校時間の目標設定から、教職員のタイムマネジメントを推進する。</u></p> <p>○本校の働き方会改革についての方針・取組等を、保護者・地域への様々な機会を通じて説明する。</p> <p>○<u>行事の目的を再確認し、内容等の精選を大胆に進める。</u></p> <p>○<u>行事担当職員の企画・運営への挑戦を支えていく。</u></p>	<p>○時間外在校時間の削減を進めることができたか。</p> <p>◎<u>80時間/月を超える時間外在校時間の職員を0人にかえたか。</u></p> <p>○教育の質を維持向上できたか。</p> <p>○<u>教職員が挑戦する意欲をもって、取り組むことができたか。</u></p>	<p>○「働き方」にかかる職員の肯定的な評価は、96%であった。</p> <p>○80時間/月を超える時間外在校時間の職員を0人にならなかった。</p> <p>○教育活動の目的を会議等で確認、共有し、実践を重ねてきた。</p> <p>○新規の取り組みの提案が多くなされた。(修学旅行、運動会、読書活動、あいさつ運動、音楽タイム、給食時の放送、一斉下校等)</p>	B	<p>○時間外在校時間を文部科学省上限ガイドラインを超えない。</p> <p>○80時間/月を超える時間外在校時間の職員を0人にする。</p> <p>○意図のある教師行動の意識付けを図り、教育活動への教職員の挑戦意欲を高めていく。</p>

学校関係者評価	実施日 令和6年2月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・落ち着いた態度で学習内容の習得に取り組んでいる。</p> <p>・低学年は明るく元気に楽しそうに取り組む、学年が上がるに従ってより学習の内容にあった真剣な態度で取り組んでいる。児童を主体に基礎学力の定着と、より個々にあった学力の習得と向上を図っていくよう引き続き指導してほしい。</p> <p>・学ぶ環境というのとはとても大切だと思いますので、より良い環境を作るということを大事にしてほしい。</p>
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・多くの児童が先生の話をよく聞き、他の児童の意見に耳を傾けている。また、他の児童と意見交換を交わす時間を設けており、充実した授業と感じられる。</p> <p>・挨拶やその場に応じた言葉遣いなどは、地域の人など様々な交流を通して育まれていくことだと思うので、来年度は地域への学校公開をぜひ実施していただきたい。</p> <p>・若い力と行動力、ベテランの気配りや指導力を組み合わせ、児童の学力や心の育成にご尽力してほしい。</p> <p>・図書室での取り組みや読書活動が非常に積極的に行われていることに感心しました。本を読むということは読解力や表現力の向上につながり、基礎学力の定着に買う実につながっていくと思う。</p>
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・保護者の多くは児童の様子を見ることができるとは別に保護者が学校に足を運ぶ機会があるとさらによい。</p> <p>・登下校での挨拶は、大きな声で挨拶ができている。</p>
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・担任の先生方が若く、意欲に満ちている感じがした。若い先生方が仕事への意欲を維持しながらも、長時間労働の削減をしていくことは難しいと思うが、校長先生をはじめとするベテランの先生方が業務内容の工夫をしていくことが大切なのだと思う。</p> <p>・全体として、保護者アンケートの評価が90%近くが好意的な評価を得られているのはすばらしいと思う。先生方の努力のたまものだと思う。若い先生方が多いということで、経験を積む苦労があると思うが、若いからこそ思いやりやれるというパワーを持って子供たちと向き合ってもらいたい。</p>